

飯南高校 PTA News Letter

No.9

WISH

2016年3月1日

発行：飯南高校PTA 広報委員会

島根県飯石郡飯南町野萱800 〒690-3401

Tel. 0854-76-2333 Fax. 0854-76-2344

URL <http://iinan.ed.jp>

総力特集

「我が家の携帯・スマホ事情」

＼ロードレースの出発を屋上から見送るPTA豚汁staff /



＼見送られ、元気に出発する飯南高生(staff撮影) /





ごあいさつ



飯南高校 P T A 会長

石橋 洋 司

日頃より飯南高校 P T A の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。P T A 活動の近況について報告します。

高校生は地域の活力源

東日本大震災の直後、被災を免れた高校へは多くの被災者が避難してきました。避難所となった高校の生徒たちが、ボランティアとして避難所の世話をする姿は、避難者が前向きな気持ちを取り戻すきっかけになったそうです。これは全国 P T A 大会の分科会で、避難所となった高校の先生が発言されたものです。「天を恨まず前に向かって進もう」と呼びかけた中学生の卒業式での答辞はあまりにも有名ですが、地域を愛する子どもたちの行動は、地域の活力源になると確信しました。そしてそれを支えるのは大人の使命だと思います。

P T A も変革期？

本校生徒の半数が、町外中学校の出身者になりました。ということは、保護者の半数は町外の方ということになります。これまでは町内の保護者を中心に P T A の様々な活動を行ってきましたが、今後は町外の保護者の方の意見も取り入れながら活動を進めていく必要があります。今年度は、P T A 評議員の選出方法の見直しを行い、来年度から新たな選出基準で評議員会を構成します。今後も多くの会員の方が活動に参加しやすいよう柔軟に活動内容を見直していきましょう。

有ると便利なものと無いと困るもの

発売された当初は「有ると便利なもの」が、次第に有るのが当たり前になり、そして「無いと困るもの」になっていきます。その化け方の速さは徐々にスピードを増しています。本会報では今回「携帯・スマホに関する特集」を組んでいます。今では「無いと困るもの」の領域に入ってしまった携帯・スマホとどのように付き合い合えばいいのか。便利なものを賢く使うためのヒントが見つければいいですね。

P T A の諸活動を利用して会員の皆さんをはじめ地域の方が飯南高校へ足を運んでいただき、学校と保護者そして地域がより身近な存在になるよう活動に取り組んでまいりますので、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。





日頃から保護者の皆様には、温かいご支援とご協力をいただきましてほんとうにありがとうございます。平成二十七年は皆様に支えられ、生徒たちが起こした「**飯南の風**」が心地よく吹き抜けた一年だったと思います。

この原稿は年の瀬に書いています。毎年、この時期になると、少年時代の年末の慌ただしい毎日を思い起こします。小学生の私でも、餅つきや窓ふき、すす払い、部屋の掃除などの仕事を頼まれ、正月準備に関わりました。そんなとき、よく飛び交った言葉は、出雲弁で「てごしえ」「てごしてごせ」という言葉です。「てご」とは手伝いの意味なので、前述の言葉は「手伝いをしなさい」「手伝いをしてくれ」という意味です。子どもの私にとっては、正月を迎える期待感や家族との一体感、非日常に対するトキメキを感じる機会でもありました。

最近、「てご」という言葉は自分自身も使うことがなく、まわりで聞くこともなくなりました。出雲弁独特の単語はだんだん使われなくなってきています。「てご」という言葉を聞かなくなったのは、出雲弁を使う機会が少なくなったことにもよりますが、**家庭で子どもに手伝いをさせることが少なくなってきている**ことにも原因があると思います。

出雲平野の西方に位置する私の実家は兼業農家であったため、年末以外でも田植えや稲刈りなどの手伝いは当たり前のようにありました。しかし、私が行った手伝いのうちのいくつかは、現代では不要となっています。田植えは田植機で行いますし、コンバインで刈って収穫した米は、その場で袋に入れられまとめて乾燥に出すようになりました。

私が生きてきた五十数年間で生活はとても変化したと思います。今回特集として取り上げられたスマートフォンのように今まで無かったものが作られ便利になりました。大人たちは苦勞から解放され、いやがる子どもにまで手伝いをしてもらう必要がなくなりました。便利さが生まれることによって子どもたちの「てご」は少なくなったように思います。

子どもたちの生きる力や意欲は、自己肯定感が基盤とされます。それは、自分が周りに役立っている意識、すなわち貢献感が育てるものです。アドラーという心理学者は、「存在していること、または行為によって**自分が役立っていることと思うことが貢献感である。そして、幸福とは貢献感である**」とっています。

「てご」は貢献感育成の源です。**生徒たちが、家庭や学校でたくさんの貢献感覚を経験してくれたらと思います**。そのためにもご家庭の協力がが必要です。飯南高校では昨年度から「自立、協働、貢献」という言葉をキーワードに教育に取り組んでいます。学校で行う清掃もそうですが、家庭でも帰ったら玄関の靴をそろえる程度の簡単な「てご」でも良いと思います。**「てご」することを見つけ、褒められなくても人のためになることをやり続ける人になること**。それが幸福な人生を歩むための一歩だと思います。生徒たちが巣立っていく先の社会で、貢献感をもって仕事をし幸福感を味わえる人生を送ってもらうことを願い新しい年を迎えたいと思います。



飯南高等学校校長

吉田 彰二

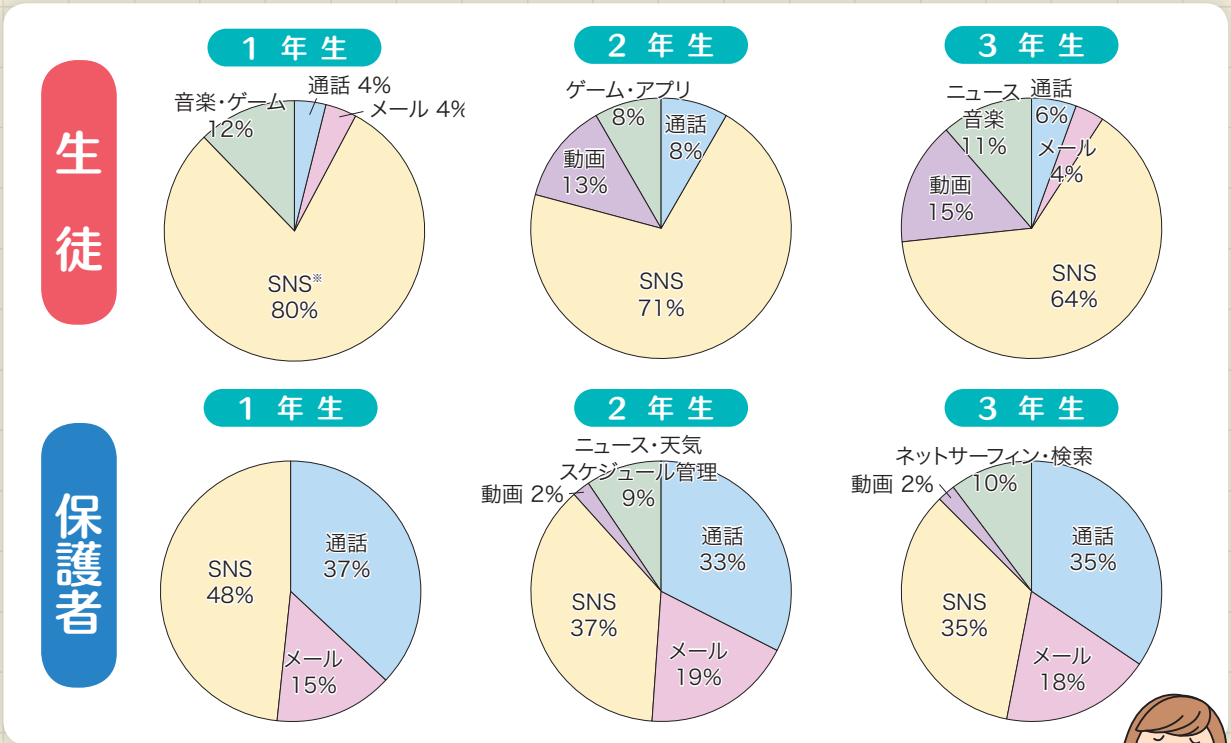
「てご」から貢献感・幸福感へ



「我が家の携帯・スマホ事情」～アンケート結果

今年度PTA広報委員会では、飯南高校生徒・保護者に対して、「携帯（スマホ）との付き合い方について、

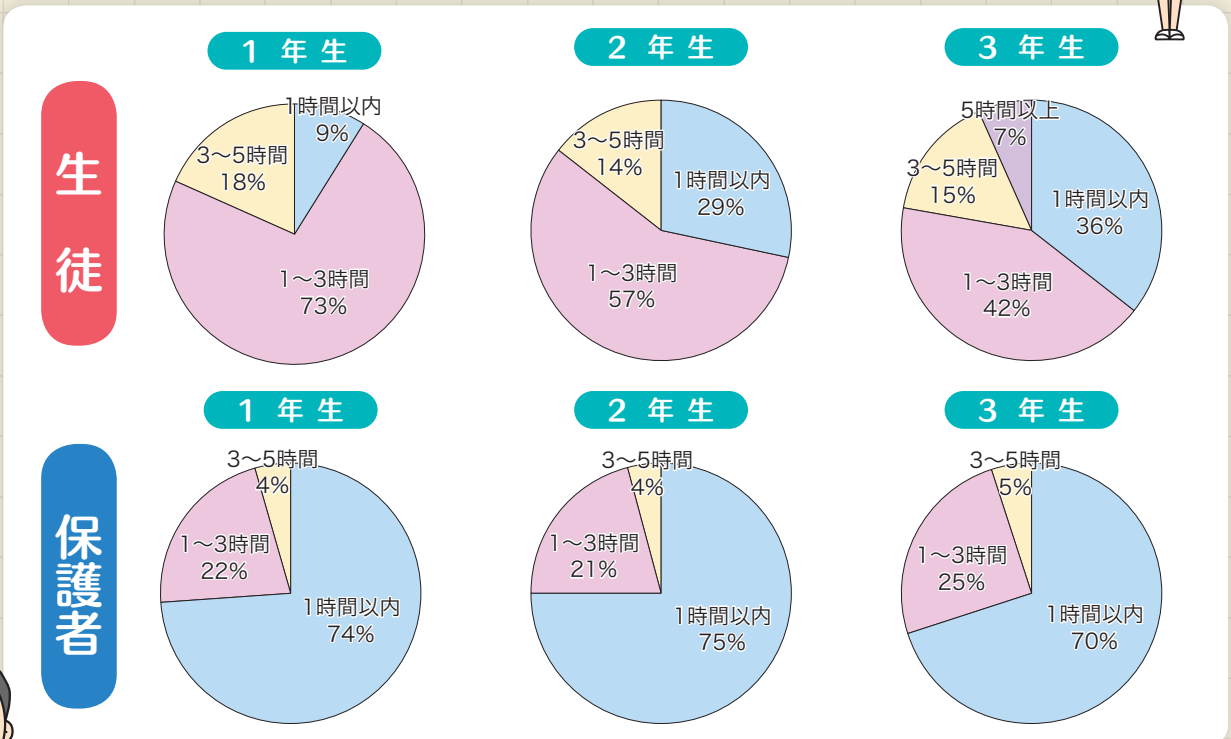
Q1. 何に使用していますか？（一番多いもの）



・生徒は通話はわずか！大部分はSNSなんだ。もはや、スマホって「電話」じゃないんだわあ～。



Q2. 1日の平均使用時間は？



・3年生は受験などに向けて使用時間を減らそうと努力している姿が浮かぶよ。一方で、5時間以上の人もいてビックリ!!



※ソーシャル・ネットワーキング・サービス（Twitter・Facebook、LINE等）

「ちょっと考えてみませんか？」と題し、特集記事を作ることになりました。それでは、集計結果をご覧ください！
(生徒・保護者アンケート回収率 約45%)

Q3. あなたが考える、携帯（スマホ）のメリット・デメリットとは？

<メリット>

◎：多数意見



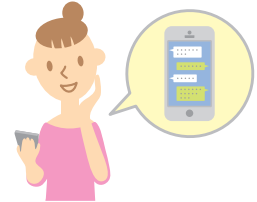
【生徒】

- ◎すぐに連絡がとれる
- ◎情報がすぐに得られる
- カメラ機能
- PC機能
- コミュニケーションがとれる
- 楽しい
- 友達と仲良くなれる
- 友達が増える
- 時間がわかる



【保護者】

- ◎すぐに連絡がとれる
- ◎情報がすぐに得られる
- カメラ機能
- PCの代用
- 多様なアプリで仕事から趣味まで活用している
- 情報が共有できる
- 相手の時間を束縛しない
- 緊急災害時に連絡できる
- 情報管理が簡単



<デメリット>

◎：多数意見



【生徒】

- ◎勉強の時間の妨げになる
- ◎考える力がなくなる
- ◎便利さ使いやすさを理由に長時間使用になる
- ◎人と話すことができなくなる
- 依存してしまう
- 事件にまきこまれる
- 誹謗中傷、いじめにつながる (SNS)
- 個人情報流出する
- ブルーライトで目が悪くなる (眠れない)
- 料金がかかる (無駄な料金)
- 気になりだすと止まらない
- 知りたくないことまでわかってしまう
- 機能をほとんど活かしていない
- 相手の表情がわからない
- 間違った情報をうのみにしてしまう



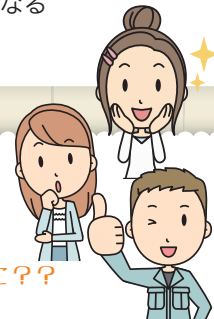
【保護者】

- ◎対人コミュニケーション能力の低下
- ◎学習能力の低下
- ◎人間としての素養や想像力が失われる
- ◎正しい文章が書けない
- ◎漢字が書けない
- ◎自分で考えることが少なくなる
- ◎依存してしまう
- ◎家族との会話が少なくなった (例：食事中的動画、話しかけても返事をしない)
- 思いが伝わりにくく誤解がうまれやすい (SNS)
- 返信、対応しなければいけない気がして、わずらわしい
- 着信が気になり束縛される
- 他の時間がけずられる
- 便利であるがゆえに長時間使用になる
- セキュリティの不安
- 個人情報の流出
- 料金が高い わからなくなる
- 目を悪くする
- メールを打つのが大変で時間がかかる
- せっかくの機能を全く活かしていない
- 操作が難しい
- 時と場合によっては大変なことになる
- 情報過多で間違いもある



編集委員のつぶやき

- ・緊急時・災害時には、圧倒的に便利なアイテム！
- ・ふ～ん。デジカメがなくても高画質の写真が撮れるんだ。PCにもなるし。
- ・親子ともに「連絡」「情報」が素早く取れるというのが上位にあり、これが一番のメリット。
- ・「相手の時間を束縛しない」という人もあれば、「束縛される」という人もいる…これ、いかに？
- ・意外にも、子どもたちもデメリットについて考えながら使用してるんだ～、えらい！
- ・「考える力がなくなる」とあるけど、人間は進化する生き物だから、本当に脳ミソが退化するかも！？オソロシ～！
- ・料金、健康面、情報の氾濫・流出、事件…。やはり、正しい使い方を知るために勉強は大切のよう。



Q4. あなたと携帯（スマホ）にまつわる○○な話…を教えてください！

生徒

○私は中学1年の頃から携帯（スマホ）を持たせてもらっているのですが、両親が私が携帯（スマホ）に依存しないようにと塾がある日は11:10に、ない日は9:10に両親のもとに返すようにルールを作ってくれました。初めはすごくいやでしたが、今となっては慣れたもので、9時に返した後に勉強や読書などをしていきます。メディアと離れる時間ができてとても良いなと思っています。

○動画でハンドボールの練習方法があったので、それを観て普段の練習に取り入れている。

○LINEで友達にIDを教えたら、そこから、たくさんの人にひろまって、色々な人から依頼がきた。

○こないだカメムシがひっついてた。スマホケースが臭くなった。

○音楽再生アプリとYouTubeを使って、動画を観たり、音楽を聴いたりしていたら、通信制限でしばらく使えなくなった。画像や写真を保存しすぎて、重くなっているのか、急に電源が切れる。バッテリーが充分ある時に起こる。

○高校生になってからスマホを買ってもらったのですが、iPhone6発売2日前にiPhone5sを買いました。iPhone6が欲しかったです。

○ツイッターなどにつぶやきを投稿して、お気に入りがあると少し嬉しい。

○携帯の横に水筒をおいたら携帯が水びたしになっていた。

○今、SNSは利用していません。受験生なので！連絡を取るだけのために使っています。勉強時間が増えました。

○話をするときには使うな！！

○スマホを通して、遠くの人と話せて楽しかった。

○寝る前、音楽のアプリをたちあげて、10分タイマーにしてクリス・ハートの「家族になるうよ」をリピートしています♥ すぐ寝れる♥

○けんしょうえんになりました。

○熱がこもる。タッチパネルがうまく動作しない。液晶が割れる。

○通常LINEなどは、テスト範囲や学校のことについてや、親にちょっとした伝言に使い、電話は緊急時のみなので、あまりそういった話はありません。

○以前多用していたので、平日は電源を切るようにしました。受験に向けて頑張りたい。



保護者

○我が家では娘の携帯の使用に対して、ずっと守ってくれている事があります。夜、塾のある日は11:10分に親の元に返却します。塾の無い日は9:10分に携帯を返却します。高校生になっても、ずっと守ってくれる娘に頭が下がります。

○本体がないと、度々探すために、自分の番号を押すこと度々。でも、鳴らすと音がするだけいい物かもしれません。カギは音ができませんから。

○私はゲームが嫌いなので周囲でゲームをされるとイラ!!としてしまう。マナーモードにしている事が多く、着信に気付かぬことも多々あります。

○主に仕事に使用しているため、昔とは違い24時間365日連絡が取れるのがあたり前のように思われるので休日でも夜中でも関係なく電話がかかってくる。お客様なので知らん顔もならず対応なくてはならない。出なかったら逆に何でかけたのにでなかったかと信用を失う結末に・・・これはいかなものかと？



○ある料理本を見ておやつを作ってみました。初めて作ったものだったので画像をそえてメールで妹に送信しました。と、同時に受信メールが。メールエラー？と、思ったら妹からメールが届いていました。その内容が「本を見てお菓子作ったんだけど・・・」という全く同じお菓子を作ったものでした。同時間に同じお菓子、同じ料理本を見て、同時にメールを送っていました。あまりの偶然にちょっと怖かったです。今でも話のネタになってます。

○職場の人の名前（フルネーム）でメールが届いた。なんだか本人ぼくくないいなぁ・・・と、思い返しなかった。アドレスも本人のものではないし（その人の携帯アドレスは知っていたが届いたアドレスはPCからのものだった。）後日、本人に聞いてみたら、自分ではないと言われた。

○グループに招待されると断りにくい。知らない人がいたりするし、興味の無い話題で盛り上がっていると、ちょっとめんどくさいかな・・・と。子どもの同級生、部活と子どもの学校などによってグループがいっぱいあり、見るのは見るが返信などははっきり言って大変。

○ゲーム等の時間については気になっていたところでしたので、使い方について息子と話し合うことが出来ました。

○寮生活をして離れて暮らす娘とこまかく連絡を取り、一日の出来事をお互いに話している。

○20歳の時に、飯南町でも何人目かに巨大な携帯電話を持って使っていた。あまりに大きく、重くて恥ずかしかった。

○20年位前までは東京の地下鉄や電車の乗客は文庫本や新聞を読む人が大半であった。最近、上京する度に、うつむいてスマホや携帯に一心不乱に向かう若若男女の姿をあらゆる場所で見受ける。それは、都会でも田舎でも同じ光景になってきた。地域社会のつながりや、ふれあい、人間関係の流動性や不安定化をスマホがもたらしているのではないかと思う昨今である。

○クリック先が悪徳サイトにつながって、高額請求があった。

○皆さんのようにスマホでないので、うまく使いこなせずにライングループにも入れていません。遅れてますかね？



○家族・友人・仕事・自治会の方などの連絡に離せない存在になってしまった！！現在、ガラケーで、ゲームや調べもの等には使用していない。

○私（母）も、やっと最近スマホに替えたので、わからないことは子どもに聞き助かっている。もちろん、あまり子どもにスマホにどっぷりになってほしくないのが節度を持って使うように声がけをしている。なかなか時間制限を決めようと思っても守れない。スマホやめますか？受験捨てますか？（涙）

○携帯を持つようになりスケジュールなど入れられ便利な反面、覚えたり考えたりすることが減りいるんなことを覚えることが出来なくなった気がします。わからないことがあれば、すぐに調べたりすることも出来ます。その前に少し考えることも大事なかなと思います。

まとめ

スマホの一番のメリットは、（親子ともに）「連絡」や「情報」が素早く取れる、ということ。子どもたちにとっては「スピード感」がとても重要なことのような。これはとても素晴らしい「メリット」だけれど、反面、ゆったりと「待つ」ことの大切さ、良さを感じる機会が少なくなっているのかもしれない。その昔、「文通」や「交換日記」の時代は「待つ」時間がとても長く、その時間が楽しみや喜びをふくらませたり、自分の言動をじっくり振り返ることにつながっていたような気がする。「待つ」こと、「立ち止まって考えること」は、社会に出て生きていくうえでとても大切なこと。今の子どもたちはスマホに限らず、「待つ」機会が少なくなっているのかな、と感じた。もしかしたら「スピード感」ではなく、「ゆっくりペース」の中で自分の長所を発揮できる子もいるかもしれないのに…。

我が子が、スマホのない時代に育っていたら、その時間で何をしているのかな・・・とふと思ったりする。そんな我が子の姿を見たいと思うのは、私たちだけでしょうか？

今年度の主なPTA事業

4月	23日(木) 第1回PTA評議員会	
5月	9日(土) PTA総会	27日(水) 第1回合同委員会
		
7月	10日(金) 第56回中国四国地区高P連岡山大会 24日(金) PTA環境整備活動(飯南高校校地) (参加者75名)	
	4日(火) オープンキャンパスボランティア (参加者5名)	26日(水)~28日(金) 安全下校パトロール 27日(木) 鵬雲祭(模擬店協力)(参加者32名)
8月		
	20日(木)~21日(金) 第65回全国高P連岩手大会	
10月	16日(金) 携帯教室 安心・安全講話(参加者3名) 27日(火) 校内ロードレース・豚汁サービス (参加者21名)	
	8日(火) 学校見学会 (東部高等技術校・出雲医療看護専門学校) (参加者3名)	

編集後記

今回は「我が家の携帯・スマホ事情」と題し、皆様からのアンケートをもとに特集を企画しました。いかがでしたか？お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。紙面の都合上、すべてが掲載できませんでしたのでご了承ください。

今後も飯南高校PTAは、生徒一人ひとりが輝けるよう応援していきます！！